

2030 LIFESTYLE SHIFT WORKSHOP

－未来のライフスタイルを対話する－（実施概要）

<開催趣旨>

新潟市地球温暖化対策実行計画（地域推進版）の改定に際し、市民や事業者の方々の声を反映するためのワークショップを開催しました。地球温暖化問題に関しては、まだ市民・事業者の意識が高いとは言えないことから、身近に感じてもらうため、エネルギーと日常の暮らしの接点を考えるテーマを設定。11年後の未来2030年においてどのような暮らしが望ましいかを思い描くことで、自分事として考えること、また、環境活動に熱心な人を主要なターゲットとするのではなく、楽しそうな雰囲気や先駆的な取り組みに興味・関心を持つ人たちとの対話を通して、“未来のライフスタイルがどう変わっていくのか”をテーマに、計画へのヒントを得ていく場を設けました。

<企画・運営>

認定特定非営利活動法人 新潟 NPO 協会《ファシリテーター：代表理事 石本貴之氏》

<開催内容>

	第1回	第2回	第3回
開催日時	令和元年8月26日(月) 14:00～17:00	令和元年9月13日(金) 18:30～21:00	令和元年10月17日(木) 18:30～21:00
会場	Sea Point NIIGATA	クロスパルにいがた	クロスパルにいがた
参加人数	14名	18名	16名
テーマ	住まい	モビリティ	シェアリングエコノミー
インスピレーション トークゲスト	◆新潟大学人文社会科学系 教授 飯野 由香利氏 ◆オーガニックススタジオ新潟(株) 代表取締役 相模 稔氏	◆MONET Technologies(株) 事業推進部主任 後藤田 達哉氏	◆(一社)シェアリングエコノミー協会 事業開発部長 新井 博文氏

プログラム [各回共通] :

オリエンテーション	ワークショップ実施の背景とSDGsの説明
チェックイン	レゴで各回のテーマに沿った工作をし、グループごとに自己紹介
ゲストトーク	各テーマの先駆者から、新たな気づきを得るためのインスピレーショントーク
ワールドカフェでゆるやかに対話	テーマに沿って、ゲストトークから得た気づきや、近い将来の変化について参加者同士で対話。15分ごとにテーマとグループを変え実施
レゴで未来のライフスタイルを形に	トークや、ワールドカフェの対話から考える、ありたい未来のかたちを各自レゴで表現し、創作したレゴを言語化する。また、その作品(未来)がSDGsのどのゴールにつながるかを示す
ギャラリーウォーク	グループ内で、創作したレゴについて発表。その後、テーブルをまわって他の参加者の作品を鑑賞。感想を付せんを書いて貼る
最終回(第3回)	多様な未来のまちを「住まい」「モビリティ」「シェアリングエコノミー」の観点から捉えてきたことを振り返り、参加者がその未来において、地球温暖化に対し緩和・適応していくため、個人としてどのような行動をとっていくか、一人ひとりが『アクション宣言』を書く

